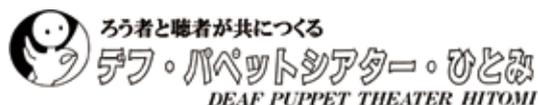


# かわさき アートニュース



## 02 | 特集

ろう者と聴者が共につくる、  
世界で一つだけの人形劇団  
「デフ・パペットシアター・ひとみ」



## CONTENTS [目次]

- 04 | 音楽  
ミュージア川崎シンフォニーホール
- 07 | 歴史・文化  
東海道かわさき宿交流館
- 08 | イベントレビュー
- 10 | 美術  
市内ギャラリー情報
- 13 | 演劇  
アルテリオ小劇場
- 14 | 映画  
アルテリオ映像館

ろう者と聴者が共につくる、世界で一つだけの人形劇団

# 「デフ・パペットシアター・ひとみ」共に生きる世界



川崎市文化財団では、障がいのある人もない人も共に文化芸術活動に親しめる環境づくりを進める「パラアート推進モデル事業」を展開しています。

その一環として、ろう者と聴者が協同して創作活動を行う専門人形劇団「デフ・パペットシアター・ひとみ」が、11月に川崎市立聾学校でワークショップと公演を行いました。

同劇団は川崎市に拠点をおき、平成30年2月に川崎で新作を発表、5月には川崎・しんゆり芸術祭2018で公演を行います。  
 (公財)現代人形劇センターの理事長・塚田千恵美さん、同劇団創立メンバーの森元勝人さん、企画制作の大里千尋さんに、「デフ・パペットシアター・ひとみ」の活動についてお話をいただきました。

## 新しい人形劇の創造

—— デフ・パペットシアター・ひとみの設立の経緯について、お聞かせください。

**森元:** デフ・パペットシアター・ひとみ(以下、デフパペ)は、1980年にひとみ座を母体とした現代人形劇センター内に誕生し、国際連合が「国際障害者年」と定めた1981年に公演活動を開始しました。この年は、障がい者のアート活動が盛んになる機運が、全国そして世界中に広がっていました。

ちょうどそのころ、来日していた「アメリカ・デフシアター」の手話劇を観に行き、強く触発されました。人形劇というのはもともと視覚的な演劇ですから、聞こえない人たちも楽しめるものが創れるのではないかと、そして、それを聞こえない人たちと創ろうと思って、デフパペを結成しました。名前のDEAF(聞こえない)が示すように、結成当初から、ろう者と聴者がお互いの感性を活かして、新しい表現に挑戦しています。

**塚田:** 第一回作品は、無言劇をやりましたね。

**森元:** 最初は聞こえない人たちと、どうやって舞台上でコミュニケーションを取れば良いのか、手探り状態でした。無言劇なら同じ土俵の上で出来ますから、ギリシャ神話の「オルフェ」という作品を、セリフなしでやってみることに始めました。やがて文字を入れたり、手話を入れたり、表現を多様化していきました。観客のなかには、聞こえない人たちだけではなく、他の障がいを持った人もいましたので、さまざまな方に幅広く観ていただける劇団になりたいと思って、今日まで活動してきました。

## 幅広い客層

—— 所属する団員について、また観客についてお聞かせください。

**大里:** 現在、役者は6人です。そのうち2人がろう者で、1人が難聴者、あとの3人が聞こえるメンバーです。観客は、半分以上が聞こえない方がお客様ということもあります。障がいのあるなしもそうですけれども、子どもから大人まで幅広い観客層なのが、デフパペの一つの特徴だと思います。

**森元:** 人形劇というと、学校や幼児教育の現場でやるのが主流で、子ども向けというイメージが強いんですよね。デフパペを立ち上げて最初に困ったことは、観客をどうやって作るかということでした。

デフパペの活動は、地域で劇団の姿勢に賛同してくれる人たちに呼びかけをして、実行委員会を作って公演を招聘してもらうことで成り立っています。実行委員は大人たちですから、必然的に大人が楽しんで鑑賞できるものを創らなければいけない。もちろん、子どもも観に来ますから、年齢に関係なく誰もが楽しめる作品を創ることを心がけています。

これまでに約650地域で2500回を超える公演を行いました。それぞれの地域の実行委員会が、文化と福祉を結ぶ架け橋となっています。

## 子どもたちに表現の多様性を

—— 今回、川崎市立聾学校で公演を行っていたいただきました。

**大里:** デフパペは、年に20校弱、文化庁事業として特別支援学校や学校をまわるツアーを行っています。事前に本公演をする学校に行ってワークショップを行い、公演当日に子どもたちに舞台に参加してもらいます。子どもたちの年齢などに合わせて、毎回違うプログラムを考えます。

今回は、「森と夜と世界の果てへの旅」というアフリカの物語を上演しました。聾学校の生徒たちに表現する楽しさを感じてほしいと思い、冒頭の主人公が出てくるまでの大切なシーンに参加してもらいました。

—— 事前に行ったワークショップの様子はいかがでしたか？

**大里:** 最初は身体を動かすことから入って、舞台の上で一緒に練習しました。初めはお母さんの足にしがみついていた子どもたちも、何回かやっていくうちに慣れてきて、ちゃんと一連の動きが出来るようになり、とても可愛かったです。

先生やお母さんたちが、子どもたちが動けるようになっていく過程を「すごいね」と言ってくださって、身近な方に分かっていた



森元勝人さん

大里千尋さん

塚田千恵美さん

だけたのが一番うれしかったです。

**森元:**デフパペの活動を舞台芸術への入り口として、身近に子どもたちに観てもらえたら、うれしいですね。

## 「共に生きること」について考える

—— 来年2月に川崎で行う公演「河の童」についてお聞かせください。

**大里:**今回の新作では「共生」というテーマを選びました。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを目前に控え、地域共生や多文化共生という言葉が多く耳にするようになりましたが、その半面、相模原障害者施設殺傷事件や、ヘイトスピーチ、インターネット上での誹謗中傷など、自分とは違う世界にいる人々を攻撃してしまう悲しい事件が多いような気がしています。

作品でとりあげる河童は、全国各地に伝説や目撃情報がありますが、人間とは共生出来ない存在としてとらえられています。河童と人間の遭遇が生み出すさまざまなドラマから、「共生」とは何か、その重要性や意義を描きたいと思っています。

森元さんも河童を見たことがあるんですね。

**森元:**子どものときに、確かに見ました。話が長くなるので、今ここでは話せませんが(笑)

**大里:**デフパペは「耳が聞こえない・聞こえる」という違いのなかで、37年間活動を続けてきた団体です。これまで私たちがやってきたことを伝えることで、「共生」という言葉の真の意味を考えるきっかけを作れたらと思います。

## 新しい世代へ

**塚田:**大里がこの作品のプロデューサーなんですよ。メンバー全員でミーティングを毎月のように重ね、いろんな企画を出し合っていて、河童にたどりつきました。今までとは違うプロセスで、若い新しい世代が積極的に参加して生まれてきた最初の作品です。

**森元:**1年余り議論していたね。一つの時代の変わり目かもしれません。

**大里:**皆それぞれに取り組みたいテーマがあり、それをまとめるなら、違いがある中で一緒に生きて行くことを考えられる作品が良いのではないかと思います。

## 文化と福祉を結び、川崎から発信

—— デフ・パペットシアター・ひとみは川崎市に本拠地を置いていますね。川崎での公演に対する想いをお聞かせください。

**大里:**私たちはこれまで、全国そして海外



川崎市立聾学校での公演の様子



稽古の様子

と、遠方での公演が多く、ここ数年地元川崎での公演がなくなってしまいました。今回、川崎で同じ思いを持った方たちに集まって公演を盛り上げてもらい、ここで出来たつながりが、新たな活動に続いていくようなチームを作りたいと思って「川崎公演を観る会」を立ち上げました。地元の手話サークル、演劇活動をされている方、聞こえない当事者の方、地域の大学の手話サークルの学生、色々な方面から10団体くらいに集まっていたいただきました。

**森元:**毎回、公演ごとに「観る会」を作ってきましたが、今回が一番充実した会になりましたね。

**塚田:**創立当初から、森元をはじめ、メンバーが地域の人と連携して、全国で上演実行委員会を作ってきましたが、地元は久しぶりという状況だったので、少し反省も込めてね。「観る会」は実行委員会に準じた会で、地域の人たちと一緒にやっていくという形にこだわっています。

**森元:**福祉施設も近くにあるので、ご近所づきあいもまた改めてしていきたいですね。川崎の人たちに見てもらいたいのはもちろん、川崎で作ったものを全国に発信していくことを、これから改めて意識していきたいと思っています。

**大里:**文化活動をしている団体と福祉活動をしている団体は、一緒に活動する機会があまりないので、そういう意味でも「観る会」を、地域がつながるきっかけとして使っただけならと思います。

## 人と人とのつながり

—— デフ・パペットシアター・ひとみの可能性について、どのようにお考えですか。

**大里:**私は東日本大震災直後に石巻でボランティアをしていたのですが、子どもたちが大人たちの顔をうかがいながら過ごしていて、避難所がとても静かでした。この子どもたちが、一瞬でも笑ったり楽しめたりできる環境を作りたいと思っていたとき、全国から送られてくる支援物資の中に人形がありました。人形でコミュニケーションをとると、子どもたちとの距離を一気に縮めることがで

きました。

何回か東北へ行き来を繰り返した後、デフパペのことを知りました。将来、世界中の色々な環境の子どもたちに楽しんでもらえる芝居が創れるんじゃないかという可能性を感じ、面接を受けました。地域の色々な方と関係を作り実行委員会を立ち上げて公演するのは大変ではありながらも、人と人とのつながりの大切さを感じます。今やっている、このアナログな作業が重要だと思っています。

**森元:**これだけデジタル化が進んだ世の中で、こういう考え方をもちた若者がいるということは、まだ救いがある気がしますね。

私は阪神・淡路大震災のとき、被災地公演で人形劇の特性を感じたことがあります。被災した人たちにとっては、生身の俳優が演じるリアルな舞台よりも、人形という小さな存在が演じる舞台のほうが精神的にほっとして楽しめるんですね。そういう状況のなかで、人形劇って特別な役割があるんじゃないかと思いました。

**塚田:**私は第一回公演を観客として観たのですが、ろう者を中心とする無言の人形遣いと、聴者の語り手が、緊張感ある劇空間を創っていて、人形浄瑠璃の伝統に通じるものを感じて新鮮でした。現代の人形劇はセリフ劇が主流ですが、ろう者が参加することでセリフから解放された人形劇は、観客に新しい世界をみせることができる。しかも人形ならではの方法で。そんな可能性を持っているんじゃないでしょうか。

—— 今後どのような活動をしていきたいですか？

**大里:**今度の川崎公演で、地元での人と人とのつながりを作り、東京オリンピック・パラリンピックの機運に乗りながら、私たちが当初から目指してきた「障がいのあるなしに関わらず、年齢や国籍や性別を超えて、共に同じ時間を楽しむこと」が、もっと社会の中で当たり前になっていけばいいなと思います。そのために、これからも誰もが観て楽しめるお芝居を創り、地元川崎から発信していきたいです。

## 公演概要

デフ・パペットシアター・ひとみ

第14回全国公演作品「河の童」

原作：火野葦平「河童曼陀羅」 脚本・演出：立山ひろみ

公演日程：平成30年2月22日(木)～2月25日(日) 全日14:00開演  
(※23日のみ19:00開演の回もあり)

会場：ソリッドスクエア B1ホール

川崎市幸区堀川町580 地下1階(JR/京急川崎駅西口より徒歩6分)

チケット：大人3,000円 学生(大中高生)2,500円 小学生以下2,000円(当日券各300円増)

[チケット取扱い・お問い合わせ] 現代人形劇センター TEL 044-777-2228/FAX 044-777-3570



## Information

川崎・しんゆり芸術祭2018

デフ・パペットシアター・ひとみ

「森と夜と世界の果てへの旅」

日時：平成30年5月5日(土・祝)・6日(日)

両日 13:00開演

会場：川崎市アートセンター

アルテリオ小劇場

(小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分)

チケット：一般2,000円 子ども1,000円

2/1(木)  
チケット  
発売予定

ミュージザ川崎シンフォニーホール おすすめ公演情報

天才作曲家たちのロシア音楽

ミュージザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団

名曲全集第133回

The Masterpiece Classics Series No.133

【日時】

2018年1月13日(土) 14:00開演

【会場】

ミュージザ川崎シンフォニーホール

【出演】

指揮: 飯森範親

ピアノ: アレクサンダー・ガヴリリュク

管弦楽: 東京交響楽団

【曲目】

プロコフィエフ: 交響曲第1番 二長調 作品25「古典交響曲」

プロコフィエフ: ピアノ協奏曲第1番 変二長調 作品10

ムソルグスキー/ラヴェル編: 組曲「展覧会の絵」

【チケット】

S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円

当日学生券(25歳以下の学生)1,000円(要問合せ)

飯森範親

アレクサンダー・ガヴリリュク

クラシックとジャズの融合! 大切な人とのロマンチックな夜に。

MUZAスペシャル・ナイトコンサート90

ロマンティック・ナイト

MUZA Special Night Concert90 Romantic Night



佐山雅弘



井上陽介



大坂昌彦



CHAKA



水谷晃

【日時】 2018年1月30日(火) 19:00開演 18:00開場、18:15~ ジャズバーSayamaオープン

【出演】 ジャズ・ピアノ: 佐山雅弘、ベース: 井上陽介、ドラムス: 大坂昌彦、ヴォーカル: CHAKA

TSOスペシャル・ジャズ・オーケストラ(コンサートマスター: 水谷 晃)

【曲目】 テリーのテーマ(エターナリー)「ライムライト」より、パート・バカラック・メドレー、ラブソディ・イン・ブルー  
フィーバー、フライ・ミー・トゥ・ザ・ムーン、ビートルズ・メドレー ほか

【チケット】 一般3,500円 スペシャルシート(1ドリンク付き)4,000円 学生券(25歳以下の学生)1,000円

お申込み・お問合せ◎ミュージザ川崎シンフォニーホール [TEL] 044-520-0200(10:00~18:00) [チケットカウンター] 10:00~19:00

[Web]ミュージザWebチケット <http://muza.pia.jp/>

# オルガンの未来へIV

今、扉を開けて



～「オルガンの未来へIV」によせて～  
「オルガンの未来へ」というシリーズは、日本の風土の中で同時代を生きる作曲家、演奏者と聴衆がどのようなオルガン文化を創ってゆくの  
かという好奇心と希望が生んだ試みだった。今年は「Victimae Pas-  
cali」という古い歌を取り上げる。グレゴリオ聖歌からルターのコラ  
ールと時代を越えて受け継がれてきたこの歌は、宗教を越えた普遍的な  
人間の歌である。今、権代敦彦氏によって新しく時代の息吹を吹き込  
まれ、再演されてゆくことを確信し、その初演に関われることを嬉しく  
思っている。(松居直美)

〔出演〕  
オルガン：松居直美  
構成・作曲：権代敦彦  
指揮：西川竜太  
合唱：混声合唱団 空  
女声合唱団 暁  
男声合唱団クール・ゼフィール  
成蹊大学混声合唱団有志

「キリストは死の縄目につながれ」から始まる  
グレゴリオ聖歌「過越のいけにえを讃美せよ」  
Gregorian chant "Victimae Paschali"  
シャイデマン：「キリストは死の縄目につながれ」  
Scheidemann: "Christ lag in Todesbanden"  
J.S.バッハ：コラール  
「キリストは死の縄目につながれ」BWV 277  
J. S. Bach: Choral "Christ lag in Todesbanden" BWV 277  
J.S.バッハ：オルガン小曲集より  
「キリストは死の縄目につながれ」BWV 625  
J. S. Bach: Orgelbüchlein "Christ lag in Todesbanden" BWV 625  
J.S.バッハ：カンタータ  
「キリストは死の縄目につながれ」BWV 4  
J. S. Bach: Cantata "Christ lag in Todesbanden" BWV 4  
〔ソロ〕ソプラノ：稲村麻衣子、アルト：興石まりあ、  
テノール：金沢青児、バス：松井永太郎（ヴォクスマーナ）  
高田三郎：典礼聖歌「復活の続唱」  
Saburo Takara: Hym "Victimae paschali laudes"  
権代敦彦：新作  
(世界初演・2017年度ミュージア川崎シンフォニーホール委嘱作品)  
Atsuhiko Gondai: New work (world premier)

他

2018年  
2月17日(土)  
15:00開演(14:00開場)  
プレトーク 14:15～14:35  
会場：  
ミュージア川崎シンフォニーホール

チケット(全席指定・税込)※〔〕内は会員料金  
S席 3,000円 [2,700円]、A席 2,000円 [1,800円]

主催・お問合せ：  
ミュージア川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)  
044-520-0200(10:00～18:00)

2018年  
1月

ミュージア川崎シンフォニーホール  
コンサートカレンダー  
CONCERT CALENDAR

「1月の催し」

\*チケット料金、残席情報等は各公演の  
お問い合わせ先までお尋ねください。

6 土  
18:30

## Orchestre des belles 第1回 記念演奏会

指揮:水戸 博之 ソプラノ:鷺尾麻衣 メゾ・ソプラノ:鳥木弥生 テノール:城 宏憲 バリトン:加藤大聖  
ベートーヴェン:レオノーレ序曲第3番 / ベートーヴェン:交響曲第9番

お問い合わせ:Orchestre des belles事務局  
050-5243-9169

7 日  
18:00

## 東京ユヴェントス・フィルハーモニー 第16回 定期演奏会

指揮:坂入健司郎 ヴァイオリン:毛利文香  
バルトーク:ヴァイオリン協奏曲第2番 / ブルクナー:交響曲第9番ニ短調

お問い合わせ:東京ユヴェントス・フィルハーモニー  
管弦楽団 mt.ci.music@gmail.com

8 月  
13:30

## ミュージア川崎ホリデーアフタヌーンコンサート2017後期 宮田大 チェロ・リサイタル

チェロ:宮田 大 ピアノ:ジュリアン・ジェルネ  
カサド:愛の言葉 / ファリャ:バレエ音楽「恋は魔術師」 / ピアソラ:リベルタンゴ / カプーステン:チェロ・ソナタ第2番 他

お問い合わせ:神奈川芸術協会 045-453-5080

主催公演

13 土  
14:00

## ミュージア川崎シンフォニーホール & 東京交響楽団 名曲全集 第133回

指揮:飯森範親 ピアノ:アレクサンダー・ガヴリリェク  
プロコフィエフ:交響曲第1番「古典交響曲」 / プロコフィエフ:ピアノ協奏曲第1番 / ムソルグスキー(ラヴェル編):組曲「展覧会の絵」

14 日  
14:00

## 横浜シンフォニックアンサンブル 第25回 定期演奏会

指揮:田部井 剛  
ヘンデル(ハーティ編):組曲「水上の音楽」 / プリテン:青少年のための管弦楽入門 / ホルスト:組曲「惑星」

お問い合わせ:横浜シンフォニックアンサンブル事務局  
080-4064-1200

21 日  
13:00

## 第14回 子どもの音楽の祭典

指揮:小林恵子 吹奏楽:ヤングかわさきジョイフルバンド(第1部)  
川崎市歌 / スウェアリンジェン:シルヴァークレスト / スウェアリンジェン:ジュピランス / 兼田敏:陽気な高校生 / 兼田敏:シンフォニックバンドのためのパッサカリア 他

お問い合わせ:川崎市教育委員会事務局学校教育部指導課  
「子どもの音楽の祭典事務局」044-200-3737

主催公演

24 水  
12:10

## MUZAランチタイムコンサート1月 宗教改革500年!オルガンの響きで聴く歴史が動いた瞬間

オルガン:長田真実、大平健介  
松岡あさひ:祈りII / メンデルスゾーン:ソナタ 第6番 / メンデルスゾーン:交響曲第5番「宗教改革」より 他 [公演後アフタートークあり]

主催公演

26 金  
14:00

## MUZA音楽サロン「音楽がもたらす力」第1回「音楽と野球」

プレゼンター:雄平(東京ヤクルトスワローズ選手) ヴァイオリン:廣岡克隆 チェロ:謝名元民 ピアノ:芥川怜子  
チャイコフスキー:花のワルツ / メンデルスゾーン:ピアノ三重奏第1番より 他

会場 ミュージア川崎シンフォニーホール  
市民交流室

27 土  
13:30

## 東京大学音楽部管弦楽団 第103回 定期演奏会

指揮:松元宏康  
レスピーギ:交響詩「ローマの噴水」 / リスト:交響詩「前奏曲」 / プラームス:交響曲第4番

お問い合わせ:東京大学音楽部管弦楽団  
090-3574-8123(高橋)

28 日  
14:00

## ワグネル・ソサイエティー・OBオーケストラ 第83回 定期演奏会

指揮:田部井 剛  
バーンスタイン:『ウェスト・サイド・ストーリー』より シンフォニックダンス / J.ウィリアムズ:『スター・ウォーズ』組曲 / ドヴォルジャーク:交響曲第9番「新世界より」

お問い合わせ:演奏会マネージャー  
090-2537-5062

主催公演

29 月  
14:00

## MUZA オルガン講座 第1回「わたしとコラール」

プレゼンター:松居直美(オルガニスト) 聞き手:飯田有抄(音楽ライター)、大木麻理(オルガニスト)  
J.S.バッハ:主は死の縄目につなぐれ 他

会場 ミュージア川崎シンフォニーホール  
市民交流室

主催公演

30 火  
19:00

## MUZAスペシャル・ナイトコンサート90 ロマンティック・ナイト

ジャズ・ピアノ:佐山雅弘 ベース:井上陽介 ドラムス:大坂昌彦 ヴォーカル:CHAKA 管弦楽:TSOスペシャル・ジャズ・オーケストラ(コンサートマスター:水谷晃)  
テリーのテーマ(エターナリー)「ライムライト」より / パート・パカラク・メドレー / ラブソディ・イン・ブルー / フィーバー / フライ・ミー・トゥー・ザ・ムーン / ビートルズ:メドレー 他

お問い合わせ:ミュージア川崎シンフォニーホールチケットセンター

Tel.044-520-0200 (10:00-18:00)

ミュージア川崎シンフォニーホール

川崎市幸区大宮町1310 JR川崎駅中央西口直結



MUZA  
KAWASAKI  
SYMPHONY HALL



# 東海道かわさき宿交流館

TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN



休館日：毎週月曜日。月曜が祝日の場合は、翌日が休館。12月29日～1月3日

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4 TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314 <http://www.kawasakishuku.jp/>

【アクセス】京急川崎駅より徒歩6分、JR川崎駅東口より徒歩10分

## 新春落語会

立川志の輔門下から久しぶりの真打登場。

川崎市在住の立川志の八 落語会。

どうぞお楽しみに。

日時：2018年1月13日(土)

午後2時～(開場 午後1時30分)

料金：2,000円

定員：先着80名(自由席)

出演者：立川志の八

会場：東海道かわさき宿交流館4階 集会室

問い合わせ・連絡先

090-3215-4193(志の八 同好会 郷地)

2018年  
1月13日(土)  
午後2時(開場 1時30分)

東海道かわさき宿交流館  
4階集会室  
定員：先着80名(自由席)  
料：2,000円

志の輔門下から  
久しぶりの真打  
立川志の八  
一九七四年生まれ。川崎在住。

主催  
かわさき「志の八」落語同好会  
かわさき郷

協賛  
東海道かわさき宿交流館

問い合わせ・連絡先  
090-3215-4193(志の八同好会 郷地)

〒210-0001  
川崎市川崎区本町1丁目8番地4  
TEL.044-280-7321  
FAX.044-280-7314

京急川崎駅 徒歩約6分  
JR川崎駅東口 徒歩約10分

### 展示－宿場時代の川崎(2階)

江戸時代の川崎宿の歴史や当時の情報があります。

旅人の衣装を着て記念撮影もできます。



### 展示－江戸から現代へ(3階)

明治以降の川崎市の歴史や、ゆかりの人物などの展示

があります。



## 世代をつなぎ、ジャンルを超え、地域に橋を架ける都市型音楽フェス 「かわさきジャズ2017」 閉幕!

今年3回目を迎えた「かわさきジャズ2017」。「多様性」と「コラボレーション」をテーマに、音楽公演(MUSIC)、地域連携(PEOPLE)、人材育成(FUTURE)という3つのミッションに取り組み、11月19日の公演をもって賑やかに幕を閉じました。

9月からスタートしたプレ期間中に多数のフリーライブや関連イベントを開催し、11月10日から19日までの10日間で行った音楽公演では、計12会場で入場者およそ6,600人を迎え、合計で過去最高となる約3万5千人の方々に楽しんでいただきました。また、運営ボランティアスタッフ「かわさきジャズポーター」の皆さまが、このフェスティバルを支えてくださいました。



### MUSIC BRIDGE 音楽公演 —川崎ならではの音楽鑑賞機会の提供—



11/10(金)  
新百合トウェンティワンホール  
前田憲男トリオ  
スペシャルゲスト小林 桂



11/11(土)  
新百合トウェンティワンホール  
渡辺香津美  
A Night With Strings



11/12(日)  
カルッツかわさき  
(川崎市スポーツ・文化総合センター)  
オルケスタ・デ・ラ・ルス  
ゲスト 根本 要(スターダスト☆レビュー)



11/14(火)  
川崎市高津市民館ノクティホール  
洗足学園音楽大学  
創立50周年記念公演



11/15(水)  
ラゾーナ川崎プラザソル  
akiko  
Elemental Harmony



11/16(木)  
ラゾーナ川崎プラザソル  
桑原あい  
ザ・プロジェクト



11/17(金)  
ラゾーナ川崎プラザソル  
伊藤君子  
〜ひばりを歌う〜



11/17(金)  
ミューザ川崎シンフォニーホール  
シェネル  
フロント・アクト 高澤綾  
withジェイソン・マルサリス



11/18(土)  
ミューザ川崎シンフォニーホール  
Nao Yoshioka  
with Special Guest Eric Roberson  
フロント・アクト m.s.t.



11/18(土)・11/19(日)  
クラブチッタ  
ジリオラ・チンクエッティ  
夢みる想い ～プレミアム リサイタル



11/19(日)  
昭和音楽大学テアトロ・ジューリオ・ショウ  
MASATO HONDA  
SPECIAL AFTERNOON LIVE

### PEOPLE BRIDGE 地域連携 —地域の魅力を発掘、つなぎ・発信する—

#### 11/4(土) 京急川崎駅大師線1番ホーム ジャズステーション in 京急川崎

京急川崎駅に停車した特別列車内で、牧山純子さんが華麗なジャズバイオリンを披露。同時に、京急川崎駅周辺を「オートチュールサクソカルテット」が楽しい演奏で盛り上げました。



11/11(土)・11/12(日)・11/18(土)  
川崎ジャズプレイヤーズフェスタ  
地域で活動する社会人ジャズプレイヤーたちが、自ら企画・運営・出演し、プロ・アマ問わない地元発の32バンドが出演する特別公演を、3日間にわたり開催しました。



9/27(水)～11/19(日)  
川崎市内各所  
スペシャルライブ・連携ライブ  
地域を拠点に活動する多彩なプレイヤーによるライブ等を、川崎市全域、さらには世田谷区、狛江市を含む42か所で約70公演行いました。  
◀10/7(土) かわさき楽大師ゆめシネマ上映会

### FUTURE BRIDGE 人材育成 —川崎で音楽に親しむさまざまな人をサポートする—



9/23(土)～10/27(金)  
ミューザ川崎シンフォニーホール市民交流室  
ジャズアカデミー2017  
かわさきジャズをより楽しんでいただくための公開講座を5回にわたって開催しました。第一線で活躍する講師陣による実演を交えた多彩な内容で、延べ617名の受講生を迎えました。



11/8(水)  
川崎市立中野島小学校訪問  
サルサ・バンド「オルケスタ・デ・ラ・ルス」の、伊波淑さんと「オルケスタ・レグルス」の福本純也さんが川崎市多摩区の市立中野島小学校を訪れて、1年生から5年生の子どもたち700名にラテンのリズムや楽器について指導しました。



## アートガーデンかわさき

**貸館案内** 絵画、彫刻、造形、工芸、写真をはじめとするジャンルを超えたアートの発表の場です。自由に空間を演出していただけます。

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1 タワーパーク3F  
TEL.044-200-1415 FAX.044-222-8817  
<http://www.kbz.or.jp/facility/artgarden/>

**【アクセス】** JR川崎駅東口より徒歩2分、京急川崎駅より徒歩2分



## ミュージザ川崎シンフォニーホール

**貸館案内** 音楽ホール正面入口の向かいに位置する音楽工房は、ピアノの発表会、講演会、音楽練習、絵画等の創作活動の発表等、用途に応じてご利用いただけます。

〒212-8557 川崎市幸区大宮町1310  
TEL.044-520-0100 FAX.044-520-0103  
<http://www.kawasaki-sym-hall.jp/>

**【アクセス】** JR川崎駅西口より徒歩3分、京急川崎駅より徒歩8分

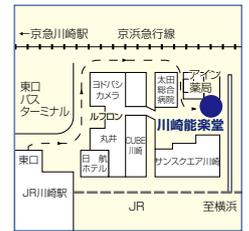


## 川崎能楽堂

**貸館案内** 邦楽を中心に創意を生かしたパフォーマンスの稽古、発表、鑑賞の場としてご利用いただけます。

〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37  
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995  
<http://www.kbz.or.jp/facility/noh/>

**【アクセス】** JR川崎駅東口より徒歩5分



## 東海道かわさき宿交流館

**貸館案内** 4階の集会室は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が必要です。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4  
TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314  
<http://www.kawasakishuku.jp/>

**【アクセス】** 京急川崎駅より徒歩6分、JR川崎駅東口より徒歩10分



## ラゾーナ川崎プラザソル

**貸館案内** 可動式ひな壇を使用したり、舞台と客席を自由に設定したりと、様々な催し物に対応。機材も充実、お客様の構想を基に、理想の空間づくりをお手伝いいたします。

〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F  
TEL.044-874-8501 FAX.044-520-9151 <http://www.plazasol.jp/>

**【アクセス】** JR川崎駅西口より徒歩5分



## 川崎市アートセンター

**貸館案内** アルテリオ小劇場では、演劇やミュージカル、コンサート、ダンス、発表会、セミナーなど様々な形態での利用が可能です。

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1  
TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200  
<http://kawasaki-ac.jp/>

**【アクセス】** 小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分



## 新百合トウェンティワンホール

**貸館案内** 450名収容の多目的ホールは、講演会、発表会、展示会、展示即売会、ギャラリーなど多彩な利用が可能です。

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺1-2-2 新百合21地下2階  
TEL.044-952-5000 FAX.044-952-1350  
<http://shinyuri21hall.jp/>

**【アクセス】** 小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩2分





## 川崎市市民ミュージアム〈中原区〉

企画展／開催中～2018年1月14日(日)

### かわさきマイスター20年展

●会場：2F企画展示室2 ●観覧料：無料

川崎市では、平成9年度より現役の優れた技術・技能職者を「かわさきマイスター」として認定しており、今年で20年を迎えました。本展では、作品や実演を通じてマイスターの活動を紹介します。



企画展／開催中～2018年1月14日(日)

### 2017川崎フロンターレ展

●会場：2Fアートギャラリー1・2・3  
※アートギャラリー2は2018年度川崎フロンターレ後援会  
会員限定エリアとなります。

●観覧料：無料

今年の川崎フロンターレの活躍を、オフィシャルカメラマンによる試合写真や映像、選手ゆかりの資料等でふり返ります！



©KAWASAKI FRONTALE

#### ★関連プログラム

##### ふるん太&カブレラ記念撮影会

新成人の皆さんはもちろん、どなたでも参加OKです！

●日時：1月8日(月・祝)

※1時間に1回程度実施予定。

参加無料



1月27日(土)～3月25日(日)

### MJ's FES みうらじゅんフェス!マイブームの全貌展 SINCE1958

●会場：2F企画展示室1、  
アートギャラリー1・2・3

●観覧料：一般800円(640円)、  
大学生・高校生・65歳以上600円(480円)、中学生以下無料  
※( )内は20名以上の団体料金です。

「マイブーム」「ゆるキャラ」などの命名者であり、現在の「仏像ブーム」を牽引してきたみうらじゅんは、2018年2月1日で還暦を迎えます。

本展では、みうらじゅんの生誕60年を記念し、膨大かつ深遠な創作活動に迫り、「マイブーム」の起源と全貌を明らかにします。

★関連イベント・関連上映も乞うご期待！詳細は決まり次第HP等でお知らせします。



グラビア・ガエル  
2002年

#### 映画上映

●料金：1プログラムにつき  
一般600円/65歳以上・大学生・高校生500円/小中学生400円  
(未就学児、障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者無料)



#### 『2017川崎フロンターレ展』かわさきマイスター20年展』連携上映

##### ■映画で見る昔の川崎 ～所蔵作品名品集～

当館所蔵作品より、川崎市内でロケ撮影された映画を特集。名作映画を通じて、川崎の昔の風景をご覧ください。

- どぶ[1/13(土)11:30、1/21(日)14:00]  
川崎駅近くの鶴見川沿いにあった沼地「カッパ沼」あたりに暮らす人々の群像ドラマ。
- 愛すればこそ[1/13(土)14:00、1/21(日)11:30]  
独立プロの三監督によるオムニバス映画。第二話では、川崎の工場群や川崎駅前でロケ撮影が行われた。
- この青春[1/14(日)11:30、1/20(土)11:30]  
亡き父の骨を故郷に葬るため日本に密航したベトナム人少年は、船員の紹介で川崎に住むシン子の家を訪ねる。
- アッシたちの街[1/14(日)14:00、1/20(土)14:00]  
川崎で町工場を営む早坂家の兄弟を主人公にした群像青春ドラマ。



どぶ



アッシたちの街

中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 FAX. 754-4533  
【アクセス】武蔵小杉駅北口バス約10分、溝の口駅南口側バス約20分  
【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)  
【休館日】月曜日(1月8日を除く)、12月29日～1月3日、1月9日(火)  
<http://www.kawasaki-museum.jp/>



●ホームページ、Twitter、Facebook、Instagramにて情報発信中!



## 川崎市岡本太郎美術館〈多摩区〉

有料

企画展／開催中～2018年1月28日(日)

### 「岡本太郎とメディアアート 山口勝弘－受け継がれるもの」展

アヴァンギャルドの一匹狼として、戦後日本の美術界にノンを突きつけた岡本太郎ですが、同時に分野を超えた新しい芸術の展開を求める活動の中では、そこに集う若い芸術家達に惜しみのない支援を欠かしませんでした。その精神を受け継ぎ、時代に先駆けて独自の表現を確立していったアーティストに山口勝弘がいます。本展では岡本太郎から山口勝弘、そして彼らの活動の先に開花したメディアアートを担う現代アーティスト10人の作品を紹介し、岡本太郎の展示空間でコラボレーションします。



岡本太郎(夜)1947年



幸村真佐男(沈まない太陽)

#### 展覧会料金等

料金：一般900(720)円、高校・大学生・65歳以上700(560)円、中学生以下無料  
( )は20名以上の団体料金  
休館日：月曜日(1月8日を除く)、11月24日(金)、12月29日～1月3日、1月9日(火)

#### ◆無料ギャラリースペース

2017年11月3日～2018年1月28日まで、館内一部工事にともない、企画展「岡本太郎とメディアアート」展は常設展示室での開催となります。そのため、館内の無料スペースにて、岡本太郎の彫刻や立体作品を展示いたします。あわせてぜひご覧ください。

※常設展は休室となります。予めご了承ください。



岡本太郎(レン)



岡本太郎(こどもの樹)

#### ◆関連イベント

##### 毎週末! 動く巨大「パイラ人」美術館に出現!

高橋士郎の気腹ロボット・パポットが岡本太郎のデザインした宇宙人「パイラ人」となって美術館に登場します。

●日時：会期中の土、日、祝日(年末年始を除く、雨天中止)  
10:00～16:00

●場所：岡本太郎美術館入口(屋外)



##### 映画「宇宙人東京に現わる」上映会

岡本太郎がデザインした宇宙人「パイラ人」が登場する映画「宇宙人東京に現わる」1956年(大映)のDVDの上映を行います。

●日時：2018年1月14日(日)上映14:00～(開場13:30)

●場所：ガイダンスホール ●料金：無料 ●定員：80名 ●申込：不要

##### 松本俊夫映像上映会&ギャラリートーク

2017年に亡くなった映像作家・松本俊夫の作品を上映します。また、松本のアーカイブ調査に携わる濱崎好治(川崎市市民ミュージアム副館長)によるギャラリートークを行います。

●日時：2018年1月21日(日)

- 第1部 11:00～11:30 映像上映  
(1963年「石の詩」+松本俊夫インタビューDVD版)
- 第2部 13:30～14:00 映像上映  
(1973-81年「モナリザ」「色即是空」「ブラックホール」「ホワイトホール」「コネクション」DVD版)
- 第3部 14:30～15:00 ギャラリートーク「松本俊夫のアーカイブ」

●場所：第1・2部ガイダンスホール 第3部常設展示室

●料金：第1・2部無料 第3部観覧料のみ

●定員：80名 ●申込：不要(当日先着順)

※その他、関連イベントの詳細は当館ホームページをご覧ください。

<http://www.taromuseum.jp>

多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 FAX.900-9966  
【アクセス】小田急線向ヶ丘遊園駅南口徒歩17分、北口バス約10分  
専修大学前下車徒歩6分  
【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)  
【休館日】月曜日(1月8日を除く)、12月29日～1月3日、1月9日(火)  
<http://www.taromuseum.jp>



●ホームページ、Facebookにて情報発信中



川崎市アートセンター kawasaki ART center

## アルテリオ小劇場

しんゆりジャズスクエアvol.32

## BOSSA NOVA deぬくもりを。

ブラジル音楽のジャンルのひとつボサノヴァは、1950年代後半にリオ・デ・ジャネイロのコパカバーナやイパネマなどの海岸地区に住む学生やミュージシャンたちによって生み出されました。ボサノヴァというジャンル名は、アントニオ・カルロス・ジョビンとニュートン・メンドンサが共作したヒット曲『デサフィナード』の詩の一節から採られました。今回は作曲家・ミュージシャンとして活躍し、世界的にファンをもつアントニオ・カルロス・ジョビンの名曲を中心にお届けします。  
〈予定曲〉イパネマの娘、ワン・ノート・サンバ、デサフィードほか



Karen

酒井麻生代

廣瀬みちる

田辺充邦

佐瀬正

2018年1月26日(金) 19:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】Karen(Gt/Vo)、酒井麻生代(FI)、廣瀬みちる(P)、田辺充邦(Gt)、佐瀬正(B)

【チケット】3,500円(全席自由・税込) 2枚セット券:6,000円/4枚セット券:10,000円

第58回川崎市アートセンター

## しんゆり寄席

2018年の幕開けは、しんゆり寄席世話人の初音家左橋と桂米多朗の両人が登場!ゲストには「江戸売り声百景」和風漫談家の宮田章司を迎え、新年を賑やかに彩ります!

2018年1月27日(土) 14:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】桂米多朗、宮田章司、初音家左橋、瀧川鯉佐久

【チケット】一般2,000円/学生1,000円(全席自由・税込) ※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。



宮田章司

桂米多朗

## ★大旦那衆セット、プレミアムセット★

年間10回開催する「しんゆり寄席」で、いつでもご利用頂けるセット券。一人でも、何人一緒でもご利用可。

- プレミアムセット:4枚1組 6,000円
- 大旦那衆セット:10枚1組 12,000円※有効期限は2018年3月公演まで。払い戻し不可。

【お知らせ】仲入りで演者からのプレゼントが当たる抽選会を開催。

人形劇団ひとみ座 創立70周年記念プレ公演

## エドワード・ゴーリーのにんぎょうげき うろんなむし

原作:エドワード・ゴーリー『うろんな客』『むしのほん』(河出書房新社刊) 訳:柴田元幸

構成・演出:友松正人・石川哲次 美術:高橋ちひろ ナレーション(録音):高木 渉

ナンセンスの鬼才エドワード・ゴーリー。世界中に熱狂的なファンをもつ絵本。劇化不能なその世界の人形劇的方程式。

2018年3月15日(木)~20日(火)

【人形遣い】松本幸子、小林加弥子、蓬田雅代 ほか

【チケット】一般3,000円/学生2,000円(全席指定・税込) ※当日は500円増 ※未就学児入場不可

主催・お問合せ:人形劇団ひとみ座 044-777-2255(10:00~18:00日休) 提携:川崎市アートセンター



速報

company ma 第3回公演 WONDER 作・演出:原田 亮 監修:大谷賢治郎

「不思議の国のアリス」の世界。夢のような、現実のような。すべての子どもたちが持つ想像の世界。まるで迷路のような…。私って誰なんだろう?自分って? 今を生きる子どもたちへ。未来を生きるあなたたちへ。

2018年3月3日(土)~4日(日)

【出演者】大谷恵理子(company ma)、森山蓉子(company ma)、庄崎真知子(劇団銅鑼) ほか

主催:NPO法人KAWASAKIアーツ

お問合せ:info@company-ma.com

提携:川崎市アートセンター

チケット取扱い(しんゆりジャズスクエアとしんゆり寄席のみ)

川崎市アートセンター [TEL] 044-959-2255(9:00~19:30、土日祝・原則毎月第二月曜除く)

[WEB] <http://kawasaki-ac.jp/th/> [窓口] 9:00~19:30(原則毎月第二月曜除く)

- ジャズスクエアの電話予約はマイタウンチケットセンターでのみお取り扱いしております。044-954-9990(月~金、10:00~18:00)
- しんゆり寄席の学生チケットは窓口でのみ取扱い。要学生証提示。またセット券は窓口とお電話のみ取扱い。



# ALEJANDRO JODOROWSKY'S ENDLESS POETRY

エンドレス・ポエトリー

## Alejandro Jodorowsky interview

アレハンドロ・ホドロフスキー監督インタビュー

—— 本作は、息子が前作よりも成長した分、息子自身も成熟し、父子の関係がより近く、優しいものになったと思います。

「そうだね。ただ父親と戦うだけでは何も変わらない。なぜ彼がそんな人物なのかを理解し、許容し、解決策を見つけることで初めてその先にいける。息子は問題に立ち向かうとともに、父親や自分に与えてくれたものを理解しようとする。そして彼は母親のことも、もっと理解する。彼女がいかに父親に対して献身的で、それによって彼女の人生が犠牲にされていたかを。世界を見渡しても、こうした社会はまだ多い。日本も強い父権社会だそうだね。でも世界は本来、男と女の両方のバランスが取れていてこそ成り立つものだ。でも社会を不均衡にするのはつねに男なんだ。世界で問題を起こすのは男。ビジネスを牛耳るのは男。家族を支配するのも男。現代の社会でそれは大きな問題になっている。今こそそのことを考えなければいけないと思う。社会を壊さないためにも平等性、そして女性の尊厳を回復させなければならない」

(宣伝用プレスシートより抜粋。校正・文責＝川崎市アートセンター 協力＝アップリンク)

## About the film

作品について

### エンドレス・ポエトリー

2016年|フランス、チリ、日本|カラー|2h08  
監督・脚本:アレハンドロ・ホドロフスキー  
出演:アダン・ホドロフスキー、パメラ・フローレス、ブロンティス・ホドロフスキー

2018.1.4-1.19

世界に潜む「マジック・リアリズム」を追い求め続けるホドロフスキー監督の自伝的作品『リアリティのダンス』の続編。舞台は故郷トコピージャから首都サンティアゴへ。父親との軋轢や自身の葛藤を抱えたホドロフスキーが、初めての恋や友情、古い規則や制約に縛られない若きアーティストたちとの出会いと交流を経て、囚われた檻から解放され詩人としての自己を確立する様を鮮やかに描く。



人生はシネマティック！

2016年 | イギリス | カラー | 1h57 | PG12  
 監督：ロネ・シェルフィグ  
 出演：ジェマ・アータートン、サム・クラフリン、  
 ビル・ナイ

1.4-1.12

第2次世界大戦がはじまり、ロンドンは連日の空襲を受けていた。秘書のカトリンは、徴兵されたライターの代わりに書いた広告コピーが情報省顧問の目にとまり、国威発揚映画のシナリオを書くことに…。題材は「ダンケルクの戦い」。銃後の女性たちの闘いが始まる。



希望のかなた

2017年 | フィンランド | カラー | 1h38  
 監督・脚本：アキ・カウリスマキ  
 出演：シェルワン・ハジ、サカリ・クオスマネン、  
 ルッカ・コイヴラ

1.4-1.19

フィンランドの首都ヘルシンキ。人生をやり直すため、やる気のない従業員ごとレストランを買取ったヴィクストロムは、シリア難民のカーリドと出会う。名匠カウリスマキが、世界を覆う不寛容に対抗する、社会の片隅に生きる人々の心優しい連帯を描いた秀作。



ノクターナル・アニマルズ

2016年 | アメリカ | カラー | 1h56 | PG12  
 監督・脚本：トム・フォード  
 出演：エイミー・アダムス、ジェイク・ギレンホール、  
 マイケル・シャノン

1.4-1.19

アートギャラリーを営み、経済的には恵まれながらも心は満たされない日々を送っていたスーザンの元にある日、別れた夫から謎めいた小説の原稿が届く。彼女に捧げられたその小説は、衝撃的に暴力的な内容だった。映画内小説と過去と現在が交差する愛と復讐の美しきミステリー。



ルージュの手紙

2017年 | フランス | カラー | 1h57  
 監督：マルタン・プロヴォ  
 出演：カトリーヌ・ドヌーヴ、カトリーヌ・フロ、  
 オリヴィエ・グルム

1.4-1.26

女手でひとつで息子を育てあげ、堅実に生きてきたクレールのもとに、30年前に姿を消した血のつながらない自由奔放な母が突然現れる…。母と娘のユーモア溢れるやりとりや、年齢を重ねたからこそ変化する女同士の絆が共感を呼ぶ、感動作。フランスを代表する2大女優、カトリーヌ・ドヌーヴとカトリーヌ・フロが初共演。



J: ビヨンド・フラメンコ

2016年 | スペイン | カラー | 1h30  
 監督：カルロス・サウラ  
 出演：サラ・パラス、カニサレス

1.13-1.26

スペインのアラゴン地方が発祥とされる「ホタ」はフラメンコのルーツのひとつとされる。「ホタ」を通じ、フラメンコのフィールドの彼方に広がる、つつましくも陽気な民俗舞踊の多彩なスタイルを紹介する。スペイン映画界の巨匠、カルロス・サウラ監督の最新作。



わたしは、ダニエル・ブレイク

2016年 | イギリス、フランス、ベルギー | カラー | 1h40  
 監督：ケン・ローチ  
 出演：デイヴ・ジョーンズ、ヘイリー・スタウ  
 イアーズ、ケイト・ラッター

1.20-1.26

心臓発作を起こし、医師から仕事を止められている59歳のダニエルは、福祉事務所で、就労可能と判断されてしまう。行政の不条理なシステムに翻弄される彼は、同じ境遇のシングルマザーと知り合う…。人間の尊厳を求める社会的弱者たちの固い絆が感動を呼ぶ傑作。



悪魔祓い、聖なる儀式

2016年 | イタリア、フランス | カラー | 1h34  
 監督・脚本：フェデリカ・ディ・ジャコモ  
 共同脚本：アンドレア・ツヴェゴヴ・サンギニ

1.20-1.26

悪魔祓いの儀式はどの神父にも与えられる権限ではなく、その特権を行使できるのはごくわずかである。カトリックの秘儀とされ、これまで外部に閉ざされてきた1200年も続く聖なる儀式にカメラが潜入し、現代の悪魔祓い師(=エクソシスト)と悪魔の臨場感溢れるせめぎ合いを映し出す禁断のドキュメンタリー。

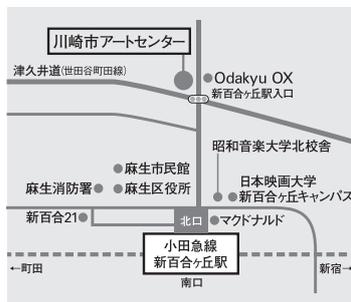


はじまりの街

2016年 | イタリア、フランス | カラー | 1h47  
 監督：イヴァーノ・デ・マッテオ  
 出演：マルゲリータ・ブイ、ヴァレリア・ゴリ  
 ーノ

1.20-2.2

アンナは夫のDVから逃れ、13歳の息子ヴァレリオと陽気で心優しい親友カルラを頼って、ローマからトリノへ向かう。住み慣れた世界を捨て、見知らぬ土地で生きていく母と子が、嵐を乗り越え、確実に未来へと進み始めていくまでを描いた珠玉の人間ドラマ。



川崎市アートセンター

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺 6-7-1  
 Tel. 044-955-0107 Fax. 044-959-2200  
 info@kawasaki-ac.jp  
 http://kawasaki-ac.jp/

小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

◆映画のチケットは9:00より受付にて販売  
 ◆自由席、整理番号順入場、立見不可



毎月

第三火曜日  
のお楽しみ  
2018

# ラゾーナ寄席

第67回

2018年

1月16日(火) 17:30受付開始/18:00開場/18:30開演

※当日券は18:00から販売します

■会場…ラゾーナ川崎プラザソル

〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F

■出演…初音家左橋・桂米多朗・林家楽一(紙切り)・柳亭市若

■入場料…全席自由2,000円

(終演後のおたのしみ“交流会”…希望者のみ・参加費1,500円)

■予約・お問合せ/ラゾーナ川崎プラザソル

電話 044-874-8501 FAX 044-520-9151

E-mail: info@plazasol.jp http://www.plazasol.jp



林家楽一



京浜間電車全通ポスター

明治38年(1905) 川崎市市民ミュージアム蔵



京浜電気鉄道株式会社事務所看板

川崎市市民ミュージアム蔵



京浜電鉄神奈川線開通チラシ

明治38年(1905) 川崎市市民ミュージアム蔵

明治維新、川崎宿は廃止され荒廃した川崎町に陸蒸気をはしり、やがて火力発電所が設置され電気鉄道大師線が開通しました。これが、川崎の近代化と産業を促進しました。

川崎区誌研究会、川崎市立川崎図書館、公益財団法人川崎市文化財団が  
共同で毎年開催している川崎をテーマとした写真展。  
今年も、京急大師線沿線の発展と近代化を、  
貴重な写真と共に展示予定です！

# 川崎の近代化と鉄道

日時 2018年1月30日(火)~2月4日(日)

10:00~19:00(入場は18:30まで)

※最終日は16時まで

会場 アートガーデンかわさき ☎044-200-1415

JR川崎駅前東口徒歩2分・川崎市川崎区駅前本町12-1タワーリパーク3F

入場  
無料

主催 川崎区誌研究会・川崎市立川崎図書館・公益財団法人川崎市文化財団

出典:産業都市・カワサキのあゆみ100年(発行 川崎市市民ミュージアム) ※展示資料は予定のため、変更の可能性がございます。予めご了承ください。

公益財団法人 川崎市文化財団

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1(リパーク3F)  
TEL.044(222)8821(代表) FAX.044(222)8817  
http://www.kbz.or.jp  
平成30年1月1日発行

川崎市文化財団

検索

かわさきアートニュースの制作には、川崎市文化振興基金が活用されています。

●印刷・製本/八幡印刷(株) TEL.044-542-2311